

令和5年度
第2回 特別支援学級運営充実推進委員会

令和5年度の取組状況について

徳島県教育委員会

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

報告書P4 取組整理表②

- ・「当事者」や「保護者」の思いを聞く機会を設けるなど、内容の充実を図る。

令和5年度の具体的取組状況

「当事者」や「保護者」の思いを聞く機会の実施



- 研修名 特別支援学級担任者研修会(新担任者対象)
- 日時 令和5年5月15日(月)、24日(水)
- 内容 講義:「特別支援学『級』を選び、通う保護者の立場」

「当事者の立場 それぞれの思い」

阿南市手をつなぐ育成会 会長 島 優子 様
島 大河 様

「当事者の思いに学ぶ」

徳島県自閉症協会 事務局 山岡 由美 様
山岡 彩 様

- 参加者数 154名(5/15:109名、5/24:45名)

○島 優子さん、大河さんへ

- ・保護者目線の講演は聞いたことがなかったので、担任として、今担任している子が
どういう大人になっていくのかをイメージ
しながら関わっていくことが大切なんだと
思いました。
- ・障がいがある児童や保護者の方がどのよ
うな思いで特別支援学級を選ばれたのか
を知ることができた。
- ・本当にしてほしいことを知ったり、将来の
姿と一緒に考えたりしていきたいと思った。
そして、通常の学級とも連携し、友達との
交流を大切にして、いろいろな体験ができ
るように努めていきたい。



○山岡 由美さん、彩さんへ

- ・彩さんの作文から、
地域で学ぶことの
大切さと目標を持って
生活することの大切さ
を改めて感じることができました。
- ・自分にできることを懸命にがんばる彩さん
の姿が思い浮かび、胸にささりました。私
も、特別支援学級の担任として保護者、
そして本人の気持ちに寄り添い、関わって
いきたい。
- ・山岡さんのお話を聞いて、自分のクラスの
生徒の将来のためにも全力で向き合っ
ていこうと思った。



1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

報告書P4 取組整理表③

・「あどばいすタイム」の取組について



令和5年度の具体的取組状況



運営状況 (R6年1月現在)

■ 実施回数

22回 (※1) / 25回 (予定)

※1: 内1回は、オンデマンド配信のみ



■ 視聴者数 (のべ人数)

・ ライブ配信: 406人

・ オンデマンド配信: 3,949人

■ 資料ダウンロード数 (のべ人数)

3,799回

次年度に向けての取組

- 先生方が自主的な学びを進めるための機会の充実
- 特別支援教育の推進や専門性向上に係る情報の発信
- 配信動画の充実
 - ・ 他の研修やアンケートでの意見を、整理しテーマに反映
 - ・ オンデマンドのみの動画配信の拡充
- 案内広報の拡充
 - ・ 基本研修や他の職務研修時に案内を実施

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

報告書P4 取組整理表④

- ・特別支援学級コンサルテーション「モデル校」での取組を共有し、小・中学校へ横展開する。

令和5年度の具体的取組状況

令和5年度

対象：堀江北小特別支援学級 3学級

内容：「学級で行うコミュニケーション指導」(※)

「適切な人との距離」

「自発的なコミュニケーション」

日時：6/27(指導前の状況把握と指導目標の決定)

10/16(児童の様子の変化も踏まえた具体的な指導の方向性)

12/ 1(指導前後の記録報告/今後の取組)

全3回の対面コンサルテーションを実施

指導助言：鳴門教育大学 小倉教授、坂口講師



コンサルテーションの様子

(※)令和6年2月10日(土)

「特別支援教育実践研究報告会」で報告

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

報告書P4 取組整理表①

・「特別支援学級ハンドブック」の改訂について

令和5年度の具体的取組状況

- ・新担任者等のニーズを、内容に反映！
- ・学校を取材した内容を盛り込むことで本県オリジナルのハンドブックに！

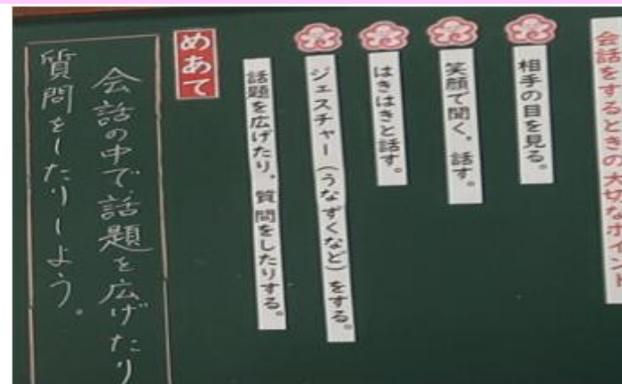
【新担任者等のニーズ】

- ・写真がたくさん入っている実践の具体例が欲しい
- ・生徒指導やSSTのアイデアが知りたい
- ・教室環境の配置図例が欲しい
- ・自立活動の事例がたくさん欲しい

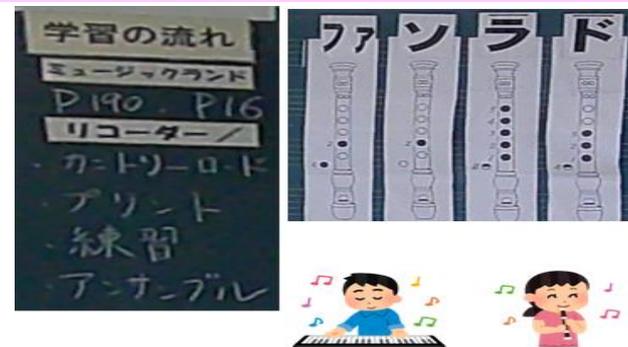


総合教育センターHP
「教室環境」

自立活動「会話名人をめざそう」(小学校)



音楽科「アンサンブルを楽しもう」(中学校)



1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

報告書P4 取組整理表①

「特別支援学級ハンドブック」の改訂について

令和5年度の具体的取組状況

新担任者のニーズが多かった、「交流学級での好事例」を紹介

- ・ 交流学級との連携のポイント
- ・ 交流学級での座席の配慮
- ・ 全ての児童生徒が「わかる」「できる」授業づくりのためのヒント
- ・ PBSを用いたUDの授業づくり

特別支援学級ハンドブックより
一部抜粋

交流学級での座席の配慮

～ 県内の先生方へインタビュー

周りを見て動く子ども

全体が見渡せる場所(一番後ろ)にする。

書く、見ることに課題のある子ども

黒板が見やすく、教員の目が行き届く場所(一番前)にする。

T2(付き添い)の教員がいる場合

適度な距離を取り、必要な時のみ支援を!!

付き添い教員
教員が支援しやすい座席

全体の授業のねらいに沿って
同じ学習課題ではなく、
・ 特別な課題
・ 実態に応じた課題
を設けて学習することもあります。

【その他の配慮】

- 出入りしやすい
行き来すること
- 気が散らない
- 席替えは学!

「付き添い教員」
特定の児童
「後はお任-

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

報告書P4 取組整理表①

・「特別支援学級ハンドブック」を活用するアイデア

令和5年度の具体的取組状況

いつでもどこでも、知りたいときに！

- ・一年間の業務内容を一覧で見える化
- ・具体的な指導例(教材教具等)等が参考にできるリンク先を作成
- ・授業例の内容充実

特別支援学級ハンドブック
より一部抜粋



← 総合教育センター HP
「教材 教具」

自作教材例② (テーマトーク サイコロ)



時計掲示①



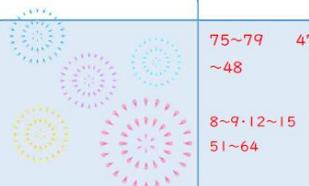
● 授業の始まりと終わりの時間を示している例。

1 特別支援学級に関わる教員の専門性の向上

・1年間の業務内容(「特別支援学級ハンドブック」より)

1年間の主な業務内容

学校の実情や児童生徒の実態等に応じて、必要な内容や時期が異なります。他の特別支援学級担任や交流学級担任、特別支援教育コーディネーター等、校内での連携を密にして、学級経営を進めましょう。

	業務内容	関連ページ
4月	→8ページを参照 	
5月	<input type="checkbox"/> 特別支援学級教育課程及び状況報告提出 <input type="checkbox"/> 学校全体へ特別支援学級の理解啓発 <input type="checkbox"/> 校内研究授業計画 <input type="checkbox"/> 校内委員会(校内教育支援委員会)との連携 <input type="checkbox"/> 会計・事務等の確認 (事務担当者との連携・確認) <input type="checkbox"/> 校外学習の計画 	11、32-38 83-86 49-50、86 83-84
6月	<input type="checkbox"/> 水泳指導の準備  <input type="checkbox"/> 個人懇談の計画・準備等 <input type="checkbox"/> 各種調査届出等 (各市町村によって時期は異なる) 	71~73 10~11
7月	<input type="checkbox"/> 1学期末の評価(※)  <input type="checkbox"/> 通知表の作成と記入 <input type="checkbox"/> 夏休みのしおり・夏休みの課題等の作成	70
8月	<input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画の見直し・追記 <input type="checkbox"/> 個別の指導計画の見直し・追記 <input type="checkbox"/> 学級経営の見直し <input type="checkbox"/> 教材研究、教室環境の整備 <input type="checkbox"/> 運動会、文化祭、体育祭、修学旅行、学習発表会等に向けての準備や計画 (交流学級担任者と連携して打合せ) 	75~79 47 ~48 8~9・12~15 51~64

※2学期制の場合は9月と3月に評価を行う

1年間の主な業務内容

下記の表例を参考に、各学級で必要な仕事内容を追記しながら、1年間の見通しをもって学級経営を進めましょう。

	業務内容	関連ページ
9月	<input type="checkbox"/> 校外学習の計画 <input type="checkbox"/> 学校全体へ特別支援学級の理解啓発・児童生徒理解 (職員会での共通理解等) 	82~86
10月	<input type="checkbox"/> 次年度入級予定の児童生徒の体験入級開始	
11月	<input type="checkbox"/> 進路相談・進路先決定のための保護者との面談  <input type="checkbox"/> 次年度に向けての学びの場の検討	90
12月	<input type="checkbox"/> 2学期末の評価(※) <input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画の見直し・追記 <input type="checkbox"/> 個別の指導計画の見直し・追記 <input type="checkbox"/> 通知表の作成と記入 <input type="checkbox"/> 冬休みのしおり・冬休みの課題等の作成 <input type="checkbox"/> 学級経営の見直し 	70 75~79 47~48
1月	<input type="checkbox"/> 卒業式に向けた打合せ (在校生・卒業生それぞれの立場での参加方法や練習計画等の打合せ)	87
2月	<input type="checkbox"/> 3学期末・年度末の評価に向けての準備(※)  <input type="checkbox"/> 通知表の作成と記入(3月にかけて) <input type="checkbox"/> 次年度の個別の支援計画・個別の指導計画の作成 <input type="checkbox"/> 次年度の教育課程の編成 <input type="checkbox"/> 引継ぎをするための準備 (81ページの資料等の準備、加えて学校独自の引継ぎシートの様式を作成することもある→82ページ)	70~71 81~83
3月	<input type="checkbox"/> 指導要録・出席簿の記入と整理  <input type="checkbox"/> 春休みのしおり、春休みの課題等の作成 <input type="checkbox"/> 次年度の学級編成	70~71

※2学期制の場合は9月と3月に評価を行う

2 校内支援体制の充実・連携強化

報告書P7 取組整理表③

・「特別支援教育推進月間」の実施時期と内容の充実について

令和5年度の具体的取組状況

・「特別支援教育推進月間(8月)」の実施

・8、9月のe-ラーニングアクセス件数
約12,500件

・8、9月の
「ポジティブ行動支援研修用動画」
視聴回数 6,629回

幼稚園・幼保連携型認定こども園・小学校の
教職員のみなさま
「特別支援教育推進月間」が
始まります！

期間 8月1日(火)～8月3日(木)

実施内容

- ①特別支援教育に関するe-ラーニング
・特別支援教育に関する基礎・基本(10領域99項目1185問)が学べます。
- ②ポジティブ行動支援研修用動画
・ポジティブ行動支援の基本から、第3層支援についてまで幅広く学べます。24本の動画を公開中です。
- ③特別支援教育あどばいすタイム
・オンラインを活用した特別支援教育に関する情報の発信や相談を行っています。8月は3回開催します。
- ④学習教材e-ラーニング
・児童生徒用のe-ラーニング学習教材(国語と算数)です。つまみやすい内容を繰り返し学ぶことができます。子ども目線でチャレンジしてみましょう。

◆①、②、③、④から2つ以上を選択し、受講してください。
(詳しくは【別添】実施要項参照)

(徳島県立総合教育センターホームページ内「特別支援まなびの広場」へアクセス)

徳島県教育委員会 特別支援教育課 学校教育課
Tel. 088-621-3140
tokubetsusuishienkyou@pref.tokushima.jp

特別支援まなびの広場
詳しくは総合教育センターホームページ

【第1回 特別支援学級運営充実推進委員会
(書面開催)における各委員からの意見】

- ・内容が充実している。
- ・QRコードがあるので、取り組みやすかった。
- ・選択肢があることで、経験年数や今必要としている、知りたい支援にあった研修を受けることができた。
- ・8月実施のため、ゆとりをもって受けることができた。



2 校内支援体制の充実・連携強化

報告書P7 取組整理表⑥

・「ポジティブ行動支援」のさらなる推進について

令和5年度の具体的取組状況

ポジティブ行動支援PR動画

令和5年9月完成！！
ご協力くださった園・学校

【R5上映場所や上映機会例】

- ・総合教育センターエントランス
- ・各種研修会における研修開始前
- ・全日本特別支援教育研究連盟全国大会
- ・小学校における保護者向け人権教育研修会
- ・徳島市小中学校教頭会 等

【総合教育センターホームページに掲載】



池田幼稚園



加茂小学校



脇町小学校



藍住中学校



トップページの
バナーから
アクセス！

2 校内支援体制の充実・連携強化

報告書P7 取組整理表⑥

・「ポジティブ行動支援」のさらなる推進について

令和5年度の具体的取組状況

とくしまPBSアワードの実施

【目的】

効果的な実践事例の蓄積とその発信

【募集内容】

・動画部門 ・エントリーシート部門

【応募資格】

幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校

【表彰】

2月9日「特別支援教育実践研究報告会」で表彰

【審査委員】

新時代『発達障がい教育』推進プロジェクトチーム

入賞校一覧

◆ゴールド賞

- ・吉野川市立高越小学校
- ・東みよし町立加茂小学校
- ・吉野川市立鴨島東中学校

◆シルバー賞

- ・吉野川市立飯尾敷地小学校
- ・三好市立西井川小学校
- ・石井町高原小学校
- ・東みよし町立加茂小学校
- ・上板町立上板中学校

◆審査員特別賞

- ・石井町高原小学校

3 関係機関等との連携の充実について

報告書P8 取組整理表⑩

・特別支援学校のセンター的機能を活用し、特別支援学校も含めた県下の特別支援学級がオンラインでつながり、定期的に事例検討を行う。

令和5年度の具体的取組状況

「地域別事例検討会」の実施

- 参加者：約380名 知的学級、自閉・情緒学級3年以上経験の方（夏休みに全10回実施）
- 方法：Zoom「ブレイクアウトルーム」機能を活用
- 助言者：各地域の特別支援学校巡回相談員

地域連携協議会で情報共有できた。

中学校区で交流会を実施できた。



早い段階で、地域の顔つなぎになった。

近隣の支援学校の先生を招いて研修会を行った。

3 関係機関等との連携の充実について

報告書P8 取組整理表⑩

・特別支援学校のセンター的機能を活用し、特別支援学校も含めた県下の特別支援学級がオンラインでつながり、定期的に事例検討を行う。

令和5年度の具体的取組状況

「地域別事例検討会」の実施

【グループで実施した事例検討の一例】
中3生徒、進路先として、保護者は特別支援学校と県立高校（全日制）で悩んでいる。



- 【本人へのアプローチ案】
- ① 高校・特別支援学校への見学を提案
 - ② 本人が選択できるように、両方の魅力を視覚化して提示

- 【保護者へのアプローチ案】
- ① 両校のメリット、デメリットをきちんと伝える。
 - ② 特別支援学校の見学を提案
 - ③ 巡回相談員への相談を提案

